

釧路工業高等専門学校地域振興協力会

会 報

第6号

平成20年（2008）7月

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 「平成20年度通常総会を開催」 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

6月27日(金)、平成20年度通常総会が釧路プリンスホテルで開催されました。

釧路高専校長、釧路市経済部長に来賓としてご臨席いただき、企業会員及び釧路高専関係者等、約50人が出席しました。

設立から4年目を迎え、釧路地域の厳しい経済状況において釧路高専に対する地元企業の期待が高まる中、事業報告及び事業計画(案)が承認されました。

昨年度から実施している釧路高専の企画による釧路高専教員と会員との共同研究も継続されるなど、相互の連携の強化が具体化されてきています。

総会終了後は、引き続き懇親会も開催され、地域に根ざした産学連携の更なる発展が期待されます。



目 次

・「会長挨拶」	会長 島本 幸一	2
・「釧路高専の教育改革」	釧路高専校長 岸浪 建史	2
・「釧路市挨拶」	釧路市経済部長 生島 修二	3
・「平成19年度事業報告」		3
・「平成19年度事業トピックス」		
「釧路高専地域振興協力会講座を実施」		4
「専攻科学生特別研究発表会・交流会」		4
・「平成20年度事業計画」		5
・「役員改選」		5
・「釧路高専教員と協力会会員との共同研究の公募について」		6
・「ロボコン2008北海道地区大会」が釧路で開催		6

「会長挨拶」

会 長 島 本 幸 一

会長の再任を受けまして、1期2年間でありますが、よろしくお願いします。

本日は、皆様お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

また、岸浪校長先生、生島釧路市経済部長にもお越しいただき心からお礼申し上げます。

さて、平成17年に当会が発足した訳でございますが、設立当初より高専と私たち地域企業との距離を縮めていきたいという思いがありまして、そのためには釧路高専地域振興協力会が一番であり、3年前に比べますと、高専と私たちの距離は少しずつ縮まってきていると思います。

最近では、原油高騰に伴い「ものづくり」のコストも上がってきておりますが、そういった中からも新しい産業が芽吹いてくることがあると考えます。

厳しい時代環境でありますけれども、いい話として、新たな企業が釧路に出てくるような事も聞いております。

高専の持つ知識や、私たち地域企業の知識など、少しずつ持ち合わせながら、地域になくてはならない釧路高専として、また、協力会としてお互いが成長し、そして何よりも学生さんが釧路高専に入ってよかったと思えるような会にしていきたいと考えております。

全道4高専の中でも、私たちの釧路高専地域振興協力会が、活発に活動をしているのではないかと思いますので、今後ともご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



「釧路高専の教育改革」

釧路高専校長 岸浪 建史

本日は、釧路高専地域振興協力会の会長として、島本会長が再任され、これからまた釧路高専のためにご尽力いただきますことを心から感謝申し上げます。また104社の企業会員の皆様、123名の個人会員の方にも、大変お世話になっておりますことを心からお礼申し上げます。

本校では、明年4月に入学する1年生において、いわゆる混合学級という「2段階学科選択制」というものを採用することにいたしました。入学当初に学科を仮配属させ、2年生進級時に転科を容易にして学生のやる気を出すシステムと、先生方が進路指導をこまめにやっていく体制をとっていきます。

また、今年度からは、岩渕地域共同テクノセンター長へ専攻科長もお願いして、釧路高専専攻科の充実に力を入れたいと考えています。本校の教育スパンを5年ではなくて、専攻科を含めた7年間一貫教育とするくらいの気持ちで、新たな高専の改革に向けて取り組んでいるところです。7年間（本科+専攻科）一貫教育と申しますのは、高校3年間と大学4年間と同じ教育歴になります。専攻科を修了した学生に対する学士号の授与は、現在、大学評価・学位授与機構という機関が学生の論文などを審査して行っているのですが、実質的に高専自体が学位を授与できる仕組みにしていきたいと考えております。釧路高専は、現在、専攻科や大学への進学率が33%くらいですが、これを全国高専平均の40数%に上げたいと思っております。専攻科の充実が、釧路高専にとって、直近の課題でございます。更に優秀な学生を地場産業にも供給できるようになると思っております。

そのためにも、今後とも地域振興協力会の皆様方には是非ご支援をいただくことをお願い申し上げます。

本日は、たくさんの会員の方においでいただき、高専を励ましていただけたということで本当に心から嬉しく思っております。どうもありがとうございました。



「釧路市挨拶」

釧路市経済部長 生島 修二

本日は、伊東市長にご案内をいただいておりますが、市長は昨日韓国から帰釧し、1週間ほど不在にしておりましたので、堰を切ったように公務が入っております、恐縮でしたけれども、代わって出席させていただきました。

まずもって地域振興協力会の平成20年度の総会が無事に終了したということで、心からお祝い申し上げます。

また、島本会長はじめ、会員の皆様におかれましては日頃からのご尽力に本当に心から感謝申し上げます。

さて、新聞でも報道されておりましたが、昨年施行されました企業立地促進法に基づく釧路市の基本計画が経済産業省の認可をいただきました。これから色々な優遇措置を含めながら企業誘致に活用していきますけれども、その基本計画の最初の事案となる企業進出の話がかなり具体化してきました、間もなくお知らせできるのではないかと思います。その関連で釧白工業団地の釧路側も完売という流れになっておりまして、非常に大きな励みになると期待しております。この基本計画の協議会では、本当にシビアな議論をしていただきました関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。そんなことで、企業進出はもちろんですけれども、この釧路に技術系の高等教育機関があるということは、本当に大きな財産だと思います。これは人材確保の面だけでなく、産学官の連携という意味でも市民にとって大きな財産であると思っております。岸浪校長先生にはぜひ企業の最先端技術ともしっかり連携をとっていただいて、レベルアップを含めて「道東に釧路高専あり」と全国に発信していただければ本当にありがたいと思います。私どもも釧路工業技術センターと連携をしながらしっかりサポートしていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、地域振興協力会の皆様の今後ますますのご発展と、本日ご参会の皆様のご健勝を祈念申し上げて簡単ですが挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。



～平成19年度事業報告～

＜釧路高専との共同研究＞……………

釧路高専の企画事業で平成19年度から実施。

1件につき上限30万円の研究経費を釧路高専が負担して行う共同研究。採択件数2件

平成19年度採択課題

研究課題①「農業用予冷設備の開発・評価」

参加会員企業 釧路市漁業協同組合、北海道エア・ウォーター(株)釧路営業所、北海道電力(株)釧路支店、三ツ輪運輸(株)

研究課題②「画像処理を用いたコーヒード豆選別装置の選別精度向上に関する研究」

参加会員企業 (財)釧路根室圏産業技術振興センター

＜協定会講座＞……………

協定会会員企業による高専専攻科学生を対象とした特別ゼミナールが開催された。出席者各20名(釧路高専)

第1回 平成19年12月6日

講師 釧路信用金庫 企画部長 森村 好幸氏

第2回 平成20年2月12日

講師 (株)長谷川建築設計事務所

代表取締役 長谷川 渉氏

＜産学官連携推進実行委員会＞……………

平成20年2月1日(釧路工業技術センター)

内容 平成19年度専攻科特別研究発表会実施要綱について

＜専攻科特別研究発表会＞……………

平成20年3月6日(釧路プリンスホテル)

専攻科学生による研究発表について審査を行い、優秀な研究に対し、会長賞、特別賞が授与された。出席者94名

＜表彰＞……………

平成20年3月18日(釧路高専卒業式)

機械、電気、電子、情報、建築学科より推薦された卒業生5名に会長賞が授与された。出席者180名

＜インターンシップ受入＞(各企業)……………

学生のインターンシップの受入れに対する支援

会員企業の16社が協力

受入学生 4年生30名、専攻科学生4名

＜職業ガイダンスでの講師＞(釧路高専)……………

3～4学年学生の進路学習企画として約40名の学生に対し、実務経験の説明や社会人としての心構えを講演する。

会員企業の4社 4名のOBが講師を担当

～平成19年度事業トピックス～

釧路高専地域振興協力会講座（特別ゼミナール講義）を実施

釧路高専の専攻科「特別ゼミナール」の講義が平成19年12月6日に釧路信用金庫 企画部長 森村好幸氏、20年2月12日に（株）長谷川建築設計事務所 代表取締役 長谷川 渉氏により実施されました。

この講座は、会員企業の経営者や技術者が専攻科学生に対し、職業観や起業意識の育成等を図るため、体験・実務的な講義を行うもので両氏は釧路高専岸浪校長から「特命教授」の発令を受けて講義しました。

森村氏からは、釧路管内における主要産業の概要や経済事情、金融犯罪などについての講義がありました。また、長谷川氏からは、釧路管内地域に昭和30年代前半に植林が開始されたカラマツを、木材資源として有効に使うことの重要性について講義がありました。質疑応答も活発に行われ学生は産業の抱える課題、地域の抱える問題点とそれに対処するために必要な能力や方策について興味深く傾聴していました。

この講座は、20年度も年4回程度実施を予定しており、各会員企業の経営者・技術者の皆様に講師となっていたたく依頼を行います。どうぞ、快くお引き受けくださいますようお願いいたします。



（講義する森村釧路信用金庫企画部長）



（講義する長谷川建築設計事務所代表取締役）

専攻科学生特別研究発表会・交流会

「技術者教育を地域企業が支援し、釧路高専が地域企業に貢献する産学連携の取組」と題した専攻科学生特別研究発表会を平成20年3月6日に釧路プリンスホテルで開催しました。

発表会は、協力会会員を始め、学生の保護者及び釧路高専教職員等、約100人の出席を得て行われました。建設・生産システム工学専攻及び電子情報システム工学専攻の2年生22人が2年間の集大成となる特別研究の成果を口頭にて、また、1年生39人は現在の研究内容をポスターにまとめて発表しました。



（専攻科2年生による口頭発表の様子）



（専攻科1年生によるポスター発表の様子）

発表会終了後の専攻科学生を囲んでの交流会では、釧路高専地域振興協力会長より、最も優れた取組み及び特徴のあるユニークな研究に対して会長賞・特別賞の表彰が行われました。また、2年生全員によるスピーチなどもあり、釧路高専の7年間の思い出や今後の決意などが披露され、盛会のうちに終了しました。



（専攻科2年生によるスピーチの様子）

～平成20年度事業計画～

1. 釧路高専を活用した人材育成

会員企業等の要望に基づき、企業の人材を育成（技術支援、技術相談等）するために高専の教員及び施設・設備等を活用する。

2. 釧路高専との共同研究の実施

(1)地域共同テクノセンターの活用と支援

(2)会員を対象とした公募型共同研究

平成19年度から釧路高専が企画した事業で、産業技術の振興と地域社会の発展に寄与することを目的とした、技術開発及び新製品開発等を課題とし、1件につき上限30万円の研究経費を釧路高専が負担して行う共同研究。

採択予定件数2件

3. 釧路高専学生のインターンシップの受入に対する支援

4. 平成20年度専攻科学生の特別研究発表会開催及び表彰

(1)専攻科学生特別研究発表会

産学官連携推進実行委員会を組織して開催

委員長：釧路高専地域振興協力会会長

(2)優秀研究に対する表彰及び会員企業と専攻科学生との懇談・情報交換会

5. 本科卒業生に対する表彰

各学科から推薦された本科卒業生5名に対する表彰の実施（釧路高専卒業式にて実施）

6. 「協力会講座」～会員企業による特別講演の実施

(1)専攻科特別ゼミナールでの講義

専攻科学生に対し地域に根ざした職業観や起業意識の育成を図るため、地域の経営者等による体験・実務的な講義を行うもので、「特命教授」の任命をうけて実施。講師自身の生い立ち、職業に必要な技術・経営理念、人作りとものづくり、技術及び独自のアイデア等の重要性、紹介地域の産業や社会が抱える身近な課題、これから求められる起業家精神など日頃感じていることや実践していることを紹介いただく。

(2)釧路高専での低学年進路学習企画「職業ガイダンス」での講師

対象：3～4学年の希望学生 約40人程度

7. 地域振興協力会会報（6号）の刊行・配布

8. 「ロボコン2008北海道大会」開催への支援

平成20年11月2日に開催する「ロボコン2008 北海道大会（釧路市観光国際交流センター）」の当番校として、釧路高専が実施する事業に対し支援を行う。

9. 「メイドインくしろ」への協力

平成21年2月上旬 開催予定

～役員改選～

平成20年度通常総会において、役員改選が行われ、島本会長が留任したほか、副会長に高尾 實氏、鈴木不二男氏、濱屋重夫氏が選任されました。新役員は次のとおりです。

顧問	岸浪 建史	釧路工業高等専門学校 校長
	伊東 良孝	釧路市長
	田中 正巳	釧路支庁長
	上西 隆広	釧路開発建設部 部長
	山本 壽福	釧路商工会議所 会頭
会長	島本 幸一	釧路地域工業振興協会 会長
副会長	高尾 實	釧路市建設事業協会 会長
	鈴木不二男	(社)釧路地方林業会 理事
	濱屋 重夫	釧路商工会議所 専務理事
幹事長	残間 順雄	釧路鉄工協会 会長
副幹事長	岡本 憲明	(株)三ツ輪商会 常務取締役
	酒井 昌宏	釧路工業技術センター センター長
幹事	中山 哲	日本製紙(株)釧路工場 取締役釧路工場長
	平林 武文	王子製紙(株)釧路工場 参与釧路工場長
	木村 貢	北海道電力(株)釧路支店 理事釧路支店長
	両角 幹彦	釧路ガス(株)取締役社長
	北島 哲夫	(社)釧路水産協会 会長理事
	河村 信幸	釧路地区農業協同組合長会 会長
	杉江 豊	(株)釧路製作所本社工場 執行役員橋梁部長
	中島 太郎	釧路コールマイン(株) 代表取締役
	長江 文男	長江建材(株) 代表取締役会長
	伊藤 正志	(株)富士計器 代表取締役
	佐藤 厚	(株)ニッコー 代表取締役
	濁沼 英一	宮脇土建(株) 代表取締役
	山中 博	葵建設(株) 代表取締役社長
	阿部 信之	阿寒共立土建(株) 代表取締役
	天方 智順	東工業(株) 代表取締役
	漆崎 隆	萬木建設(株) 代表取締役
	宮田 昌利	サンエス電気通信(株) 代表取締役
	白崎 義章	白崎建設(株) 代表取締役社長
	西村 智久	釧石工業(株) 代表取締役
	福井 克美	トーワ計装(株) 代表取締役
監事	伊貝 正志	釧路綜合印刷(株) 代表取締役
	長田 武興	近藤林業(株) 代表取締役
	得地 吉尾	得地ファニチャ工業(株) 代表取締役
	岩淵 義孝	釧路高専地域共同テクノセンター センター長
	荒井 誠	同 副センター長
監事	佐藤 優	釧路信用金庫 理事長
	加納 則好	(株)加納工務店 代表取締役

～釧路高専教員と協力会会員との共同研究の公募について～ 平成20年度の採択課題が決まる

釧路高専地域振興協力会は、釧路高専を活用・支援する産学連携事業に取組み、もって産業技術の振興と地域社会の発展に寄与することを目的として設置されたもので、釧路高専との共同研究の推進をその事業計画に掲げています。

釧路高専では、平成19年度からこの共同研究を推進するため、協力会会員の皆様から研究課題を公募し、釧路高専教職員との共同研究を行う事業を企画しました。

2年目を迎えたこの制度も会員に広く紹介され、このたび2件の共同研究課題が採択されました。

研究期間は平成21年6月30日までで、期間終了後釧路高専に報告書を提出すると共に釧路高専研究紀要に投稿し、研究成果を社会に公表することとしております。

平成20年度に採択された研究課題は、次の2件です。

①研究課題：寒冷地冷熱を利用した冷凍鑄型の非鉄合金鑄物への適用

応募者：鑄工舎 佐藤五十雄

本校研究担当者：釧路高専機械工学科 岩淵義孝

②研究課題：寒冷地型住宅用の耐震補強兼用外壁の構造及び工法の研究

応募者：株式会社残間金属工業 残間順雄

本校研究担当者：釧路高専機械工学科 高橋 剛／技術室 石塚和則

～「ロボコン2008 北海道地区大会」が釧路で開催～

第21回アイデア対決・全国高専ロボットコンテスト（通称：ロボコン）の北海道地区大会が釧路高専を当番校として、平成20年11月2日(日)に釧路市観光国際交流センターを会場に開催されます。今回のテーマは「ROBO-EVOLUTION

生命大進化」。競技の間にロボットが多足歩行から2足歩行へと変身してフィールドを歩き、障害物をクリアしていく内容となっています。この大会の運営を行う釧路高専に対し、地域振興協力会からもその一部を支援することが総会で決議されました。釧路で開催される「ロボコン」を会員みんなで応援しましょう。



◀開会式
(ロボコン 2007)

テストラン▶
(ロボコン 2007)



【編集後記】

釧路高専地域振興協力会も会員の皆様のおかげで4年目を迎えました。

総会での挨拶にあるように原油の高騰や物価上昇など厳しい日々が続いています。

しかし、一方では新規産業の誘致など明るい話題も出てきております。地方の元気の源は、やはり「人材」という「宝」だと痛感する昨今です。これからはますます釧路高専と地域振興協力会が中心となって、釧路地域の牽引役となり、地域発展に寄与することを願っています。

今後とも本会の充実のためご協力よろしくお願いいたします。

企業会員 104 社
個人会員 123 人
(H20.6.26 現在)

【釧路工業高等専門学校地域振興協力会事務局】

〒 085-0847 釧路市大町 1 丁目 1 番 1 号
釧路商工会議所内
TEL 0154-41-4141 (代表)
FAX 0154-41-4000

【釧路工業高等専門学校】

〒 084-0916 釧路市大楽毛西 2 丁目 32 番 1 号
TEL 0154-57-7216 (研究協力室)
FAX 0154-57-5360
URL <http://www.kushiro-ct.ac.jp/>